

# ありば

VOL. 51  
2026

「バリア」の逆は「ありば」。  
バリアフリーな社会を築くために、本誌はバリア反対!の意を込めて、「ありば」というタイトルにしました。  
みんなに住みよいまちを、みんなで築くために。  
人と人のバリアフリーコミュニケーションをご紹介します広報誌、それが「ありば」です。



表紙/「すいぞくかんのインストラクター」

県立鹿児島南特別支援学校小学部5年 瀬川奏愛<sup>せがわかな</sup>さんの作品

この作品は、(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構 (JEED) が主催する「令和6年度絵画コンテスト 働くすがた～今そして未来～」の厚生労働大臣賞受賞作品です。

瀬川さんは、以前家族と訪れたかごしま水族館で見た、大水槽の前で説明をするインストラクターや色鮮やかに映る海の生き物たちを描きました。なかでも画面中央に大きく描かれたジンベエザメは、細かい模様まで筆を立てて丁寧に色付けされています。水彩絵の具の柔らかい質感から、生き物たちが心地よく泳ぐ雰囲気が伝わってきます。

「水族館の好きなところは、水槽の中の魚の表情やイルカのショー」と話す瀬川さん。これからも大好きな図工の授業を頑張りながら、友達と楽しく過ごしたいと話してくださいました。



## CONTENTS

### [特集]

皆が安全で安心して移動できる  
社会を目指して

PAGE 1

ハードルを越えて  
永井 湧育さん

PAGE 5

ありばヒューマンドキュメント  
入井 裕太さん

PAGE 3

バリアフリー最前線  
大福ジャパンアスリートセンター大隅

心の輪を広げる障害者理解促進事業

PAGE 6

ありば通心  
NPO法人じゃがいものうち

PAGE 4

鹿児島県からのお知らせ  
・世界自閉症啓発デー  
・IT サポートセンター

PAGE 7

